

機器・分析技術研究会 2023 熊本大学 報告

共通機器部門 共通利用機器管理班 山口信雄

1. はじめに（目的等）

今回の機器・分析技術研究会には来年度本学開催の視察として、前日より会場設営などの様子を含めて参加した。また、近年の各大学での技術報告について情報収集を行った。

2. 期間・場所

期間：令和5年9月6～8日

場所：熊本大学黒髪キャンパス（オンサイトのみ）

3. 参加者等

計135名（学外115名、熊本大20名）

4. 研修内容

各分野における技術・業務紹介を口頭とポスター発表で行われ、さらに特別講演、企業ブースなどが行われた。初日の夕方には懇談会も行われた。

5. まとめと感想

6日午後から会場に入り、会場設営前からの状況を確認した。当初はオンサイト+オンラインのハイブリッド開催が予定されていたが、いつの間にかオンサイトのみでの開催となっていた。そのため準備は旧来の現地開催のシンプルな形式であった。会場は口頭とポスターの2か所に分かれており、特に広い会場という感じではなかった。現地での道案内は適切な感じで、看板は防水でかなり手の込んだものが3枚掲示されていた。

研究会への参加自体は質量分析関連を中心に情報収集を行い有意義なものであった。

懇親会は60～70名が参加してかなり密な感じも受けたが、街の混雑した感じもコロナ以前の地方都市部と変わらず、社会的な変化を感じた。

本出張で得た情報は次年度の研究会開催に役立てるため、詳細は別途実行委員会に報告する。